

自己評価票

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)	
I. 理念に基づく運営				
1. 理念と共有				
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	事業所独自の理念が作成され事務室・玄関に掲示されています。 地域密着型としての重要性は認識あるものの、サービスの役割については認識不足があると思われます。	○	地域密着型としてのサービスの役割について理念を深め、改めて反映された理念となっているのか必要に応じて見直しがされて良いと思っています。
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	月一回の職員会議や、状況に応じその都度の話し合いで利用者・家族様の情報を共有し理念の実践に向けて確認し合い取り組んでいます。	○	定期会議の継続や、状況に合わせての話し合いを行い、職員・家族間で情報を共有し目指すべき方向を確認し合い継続して行きます。
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	玄関・事務所に理念を掲示しています。 入居時等の利用者・家族に説明を行い、又、運営推進会議を利用し地域住民様へ利用者等の個人情報配慮した上で理念を記載したホーム便りを配布し理解してもらえよう取り組みをしています。	○	地域の皆様へ利用者が理解していただけるよう継続して取り組みます。
4	○隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけあったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている。事業所は地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。また、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、地域の認知症普及活動に参加している。	散歩時近隣の方々と挨拶を交わしたり、気軽に立ち寄ってもらえるように心がけています。又、納涼祭を開催し、地域住民が沢山参加していただきました。 近所のスーパーやショッピングセンター等へでかけ、地域との関わりを持てるよう働きかけています。 ヘルパー実習や慰問については随時受入れし、利用者のプライバシーには十分配慮した対応を行っています。	○	継続して交流を図り、深め合えるように近隣や地域住民の方へ働きかけて行きます。又、スーパーやショッピングセンター等地域資源を利用し関わりをなくさないように努めて行きます。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
5	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価は全職員で取り組んでいます。又、外部評価の結果を基に話し合いの場を設けて今後もより良いサービスに繋げています。	○ 今後も必要に応じて話し合いの場を設け継続します。
6	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議開催時サービスの状況や取り組み等を報告し、適宜意見や指導等を受け、今後に繋げています。	○
7	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、運営や現場の実情等を積極的に伝える機会を作り、考え方や運営の実態を共有しながら、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	困ったことや問題が生じた際は市の担当者へ赴いたり電話での相談やアドバイスを受け、少しでも問題が解決できるようにサービスの質の向上を図り取り組んでいます。	○ 疑問な点や問題発生時は今後も各担当者へ報告や相談し意見やアドバイス等を受け、問題等解決に向けて取り組んでいきます。
8	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	前回の外部評価後資料を回覧し、全職員が理解を深める取り組みを行ったがまだ知識不足です。又、現在利用者の家族が成年後見制度申請され、必要書類の援助を行なっている状態です。	○ 今後も外部研修参加や内部研修にて各制度を勉強して行きます。
9	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	各研修を通じ全職員が虐待防止法に関する理解を深める取り組みを行っているが、発見した際の対応方法や報告の流れについて取り決めがない。	○ 発見した場合の対応方法や報告の流れについての取り決めについて検討します。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
10	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時や退居時の際は重要説明事項等を基に説明を行い、利用者や家族の不安や疑問点にも十分説明を行い納得して頂いています。	○ 今後も状況に応じ不安・疑問等に対して納得して頂くように説明します。
11	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者の会話や意見・苦情・不満が生じた際は傾聴し、問題点を職員間で話し合っています。又、運営推進会議を活用し表しています。	○ 今後も利用者自身の気持ちを考え対応する体制を心がけて行きます。
12	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	家族の面会の際は利用者の暮らしぶりや健康状態(受診状況等)・金銭管理等の報告を行っています。	○ 今後も状況に応じ対応します。
13	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族等が意見・不満・苦情を気軽に言えるように雰囲気作りに心がけています。又、玄関に苦情受付箱を設置しています。	○ 出された意見・不満・苦情は全職員で話し合い、提案を解決できるようサービスに反映させて行きます。
14	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月一回の職員会議や、毎日の申し送りにて職員の意見や提案を得て話し合い検討を行い運営に反映させています。	○ 継続して出された意見や提案を職員間と話し合い運営に反映して行きます。
15	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	利用者の生活に支障がない勤務体制であり、家族からの訪問希望等その都度対応しています。又、職員の急な休み等には代わりの職員が対応できるように努めています。	○ 継続して利用者の生活に支障がないよう努めます。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16 ○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	殆ど配置換えは行わず、馴染みある関係で支援しています。 退職又は新しく職員を配置する際はその都度利用者へ説明しています。必要に応じて引継ぎは業務を通じて行われています。		特別な事情が無い限り配置換えをせず、職員と利用者間で信頼関係をつくり、継続して安心できる支援を行います。
5. 人材の育成と支援			
17 ○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部研修は年五回の方針があります。外部研修参加者は参加資料を基に月一回の会議の場で報告を行い、話し合いをして全職員に周知しています。 内部研修に関する計画はないです。	○	研修参加は勤務体制に支障のないよう配慮し継続します。 研修参加目標に至っていないので参加を働きかける必要があります。 内部研修についても話し合いが必要と思われます。
18 ○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	県・地区グループホーム協会加入され定期的な交流の機会があり、同業者とのネットワークづくりに取り組み、相互で得られた情報をサービスの質を向上出来るよう取り組んでいます。		ネットワークを大切にし、意見交換を継続します。
19 ○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための良好な工夫や環境づくりに取り組んでいる	各職員の家庭の事情等を考慮し働けるよう努めています。 職員の休憩時間が定まっていない状態であり、ゆっくりとくつろぐ場所がありません。	○	限られたスペースで工夫し、話し合いが必要と思われます。
20 ○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	健康診断は年一回行っています。 職員個々の状況を報告し把握出来るように努めています。又、全職員が向上心を持って働きかけるように努めています。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
21	○初期に築く本人、家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人、家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	相談者の話を傾聴し状況の把握に努めています。又、本人の希望を取り入れ、少しでも不安なく生活が出来るように努めています。	信頼関係を崩さないよう継続して努力します。
22	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	利用者と家族の状況やニーズを把握し、緊急性を見極め、希望に沿ったサービスができるよう努めています。	状況を考慮し継続して対応します。
23	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	本人が安心して暮らせるよう状況に応じて家族と連絡を取り、意見や要望を取り入れながら利用者の視点を考慮し支援を行っています。	家族との連絡を取りながら、状況に合った対応を今後も継続します。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
24	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ事を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者の方と一緒に過ごすことにより気付いたり学ぶ事が多く、喜怒哀楽を共感し理解するよう努めています。又、軽作業等得意な事を行っていただき、共同しながら生活できるよう努めています。	今後も利用者の方と過ごす日々を大切にします。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	利用者の家族との情報交換を密に行い、家族の思いを支えています。 又、利用者の家族にもいろいろな事情があり、その状況に応じ出来る範囲で協力をお願いしています。	○	家族の思いを把握し共に支え合う関係を崩さないよう心掛けます。 又、事情を抱えている家族と今後の取り組みについて話し合う機会を設けて行きます。
26	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	本人と家族の関係や、双方への思いを把握することに努め、出来る範囲で支援していただいています。	○	本人と家族の絆を大切にし、家族の役割を奪わないように継続して配慮します。 又、事情を抱えている家族にも十分配慮を心掛けます。
27	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	本人がこれまで関わってきた人や、馴染みの場所を本人や家族等を通し、出来る限りの支援をしています。	○	利用者が関わってきた方々等との交流が途切れないよう継続して支援します。
28	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	利用者同士の人間関係を把握することに努め、状況に応じて対応することで孤立しないよう配慮しています。	○	利用者同士の関係や個性を活かせ保てるよう継続し努めて行きます。
29	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	サービス利用が終了しても必要に応じて相談に応じたり、外出先で本人や家族に会った際は声掛け等でその関係を大切にしています。	○	これまで築いてきた利用者や家族との関係を継続し、相談や支援に努めます。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1. 一人ひとりの把握			
30	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者の希望や意向の把握に努め、満足が得られるよう取り組んでいます。又、困難な場合は家族等から話を聞き、職員間で利用者の視点に立って話し合い、対応できるよう努めています。	月日を重ねる毎に状況の変化が考えられるため、その状況に対応できるよう日々の関わりを大事にします。
31	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	状況に応じ本人や家族から話を聞いて情報を得、生活歴・個性・ライフスタイル等把握し、それを踏まえてプライバシーを考慮しサービスの提供に努めています。	○ 家族からの情報と協力を得、馴染みのある物を部屋へ配置することで、更なる生活環境等の向上に努めます。
32	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	家族からの情報や、本人の日常生活の観察から生活リズムの把握に努め、できない部分での支援を行い、精神的に負担にならないよう努めています。	利用者の有する力等の観察を行い、現状を把握できるよう努めて行きます。継続します。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
33	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人がその人らしく暮らせるよう職員会議での話し合いや、その都度話し合ったり、家族の要望等を取り入れ、一人ひとりのニーズを考慮しています。	月一回の職員会議はモニタリングを行い、計画作成に貴重な場となっています。又、家族へは説明を行い、意見等を聞いています。
34	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画の期間に応じて見直しを行い、経過観察中必要に応じ意見交換やその都度話し合いし対応しています。又、医療的重要なことは医師へ報告をし指示を仰ぎながら、家族間とも話し合い納得を得て対応をしています。	介護計画は職員全員がいつでも参照することができ、対応の統一性を継続し、必要に応じて状況に合った見直しを行います。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
35	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別のケース録へ日々の暮らしの様子や身体状況について具体的に記録を行い、ケアの実践結果や気づき・工夫も記入しています。又、全職員が情報を共有し見直しに活かしています。		今後も職員全員で情報を共有し、実践や計画に活かします。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
36	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	グループホーム単独での対応は本人や家族の希望に限界があり、必要に応じ通院・美容院・ショッピングセンター等へ赴いたり、代理購入を行い対応をしています。		継続して対応してニーズに応じ対応します。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
37	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	年二回の消防訓練や救命救急訓練を専門職の方から指導を受け実施しています。又、必要に応じて民生委員へ相談することができます。 ボランティア希望者へは利用者を考慮しいつでも受入れることができます。		継続して各関係機関等の協力を得て行きます。
38	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	状況に応じ地域の専門員と話し合い、よりよいサービスに繋げられるようにしています。		〃
39	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	必要に応じて連絡調整を行っています。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
40 ○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人や家族の希望に沿って受診を行っています。 緊急性や必要に応じて家族へ連絡を行い、医師へ状況を報告し指示を仰ぎながら対応し、必要に応じて随時家族へ連絡しています。又、必要に応じて家族も同行受診していただいています。	○	受診内容や結果は家族へ継続して報告し今後も家族と共有し支援します。
41 ○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	専門医への定期受診を行い、状態報告や相談にて、本人に合った指示や助言を受けています。		今後も継続し、必要に応じ適切な治療を受けられるように支援します。
42 ○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	利用者を把握されている看護師が常勤され、気軽に相談することができ、いつでも連絡が取れる体制になっている。	○	専門分野は看護師助言のもと協力し合い、利用者の日常的健康管理や医療活用の支援を継続します。
43 ○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院された場合は家族と協力し、病院や家族と連絡し合い必要物品の対応や情報を得て早期退院への協力をしています。	○	今後も継続し取り組みをします。
44 ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	必要に応じ医療機関と相談し助言を受け、医師の指示で連絡調整を行い家族も同行受診し今後の方向性について話し合いをし対応しています。又、見取りの指針も整備されており、家族の意向も重視し状況に応じて対応しています。	○	家族へは本人に合ったサービスの情報を提供し、本人に一番合ったサービスが得られるよう話し合いし、納得してサービスを受けられるよう対応して行きます。
45 ○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	家族の希望により終末期に備え、各医療機関の地域連携室との連絡調整中であり、寝たきり状態になる前から訪問診療を受けられるよう関係医療機関の医師へ報告済みであり、必要に応じて医療情報の提供を受けられるようになっている状況で進行中です。	○	今後も医療機関と家族・当事業所とで話し合いがもたれることから、十分家族が納得した状況で、早期情報を職員とも共有し最善をつくして対応して行きます。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
46	<p>○住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	○	日頃からのネットワークづくりがいかにか大切に実感させられました。今後も交流を深めて行きます。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
47	<p>○プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	○	利用者への声掛けや対応について、職員間で話し合い、確認し合ったりと継続して誇りやプライバシーを損ねないよう対応して行きます。
48	<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	○	本人の状況に応じて選択出来るよう継続して支援します。
49	<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	○	本人にとって出来る限りその人らしい暮らしをしていただくよう職員全員が心掛け継続して対応します。
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
50	<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>		その人らしさを大事に対応し継続します。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
51	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>		<p>今後も状況に応じ柔軟な姿勢で対応して行きます。</p>
52	<p>○本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>		<p>〃</p>
53	<p>○気持ちよい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>		<p>〃</p>
54	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>		<p>〃</p>
55	<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p>		<p>〃</p>
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
56	<p>○役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>		<p>〃</p>


項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	利用者の力量に合わせて対応しています。自分で管理できない場合は家族へ説明し同意を得て事業所で管理し収支がわかるよう全て記入して、レシートの保管をしいつでも見ていただけるようになっています。		〃
58	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	利用者の希望や体調・天候を考慮し、気分転換に繋がるよう散歩や買物に出掛けています。		〃
59	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	家族の希望等で外出や外泊はその都度対応しています。又、レクリエーション活動でドライブや夕食の計画をたて利用者と職員も一緒に楽しんでいます。		〃
60	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	利用者から希望があった際は状況に応じて対応しています。又、判断しにくい場合は家族等に確認を行い支援しています。		〃
61	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	いつでも気軽に面会が出来るようになっています。又、家族が宿泊の希望があった際は出来る限り対応できるようにしています。		いつでも訪問できるよう雰囲気作りを行い心掛けます。
(4)安心と安全を支える支援				
62	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	全職員が身体拘束に対して理解し、身体拘束や精神的拘束を行わず、その人らしさを大切にして支援を行っています。		身体拘束や精神的拘束の疑問視されるときは話し合いの場を設けて行きたいと思えます。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は玄関に施錠せず、利用者や家族等がいつでも出入りすることが出来る状態です。又、無断外出への対応として職員が一緒に付き添いを行い対応しています。	○	無断外出時は近隣からの協力を得られようできる限り交流を深めて行きます。
64	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	夜間は職員が見守りやすい場所で様子観察を行っています。又、日中自室で過ごされる時間が長い利用者に対しては時間をみて声掛けを行っています。		利用者のプライバシーに配慮し、安全確認及び把握に努めて継続して取り組んで行きます。
65	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	その人の管理能力に応じ自己管理をしていたり、状況に応じて事務所管理や鍵の掛かる場所へ保管している。	○	利用者の管理能力が難しくなってきた際はその都度話し合い継続して対応します。
66	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	職員会議や状態に応じてその都度話し合い、利用者の想定される事故等について情報交換を行ったり、ヒヤリハット・事故報告書を周知することで事故防止に取り組んでいます。	○	機会に応じ専門職からの指導や、ヒヤリハット・事故等の再発防止等に継続して取り組んで行きます。
67	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	年二回救急救命士から救命救急法の指導を受け訓練を行っています。又、AED・バックマスク・吸引機を設置済みで、使用方法の指導も受けて訓練を行っています。	○	年二回の救命救急法（心肺脳蘇生法）は必ず指導を受け継続して訓練を行います。
68	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年二回の消防訓練を日勤帯と夜間帯を想定し行っています。 日頃より地域の協力を得られるまでは至っていません。	○	近隣の協力を得られるよう働きかけて行きます。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
69	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	病気等によるリスクについては必要に応じ医師から家族等に説明していただいたり、家族との話し合いにて説明を行って理解していただいています。又、状況に応じ見直して対策について話し合い取り組んでいます。	○	今後も状況変化等見られた場合は継続して家族に説明し、対策を話し合いながら抑圧感のない暮らしをしていただけるよう努めて行きます。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
70	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎日のバイタルチェックで状態を把握し、本人の訴え時に心身の変化がないか観察を行い、記録にて情報を共有し異常の早期発見に努めています。又、必要に応じて速やかに受診し対応しています。		継続して異常の早期発見に努め対応して行きます。
71	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	一人ひとりの薬に関する内容は個々のケースにファイルしており、常時確認できるようにしています。又、飲み忘れや誤薬がないよう名前の表示や毎回ごとに仕分けをしています。状態の変化等があった際は記録に残し、必要に応じて受診して医師へ報告しています。内服変更時等は情報を共有し対応しています。		継続して情報を共有し対応して行きます。
72	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	下剤を服用されている場合は個々の状態に合わせて医師への報告・指示にて調整を図り対応していますが、予防と対策の為に飲食物の工夫や身体を動かす働きかけが少ないと思われます。	○	便通のよい飲食物を工夫しながら取り入れて行きます。又、レクリエーション等で身体を動かす働きかけを行って行きます。
73	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	声掛け等で一人ひとりの習慣や意向を踏まえ、個別に働きかけを行い、その人の能力に応じた支援を行っています。		強制せず、その人に合わせた働きかけを継続して取り組みます。
74	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	その人の病気等を考慮し医師から指示を受けたカロリーに近づけるよう対応し、栄養バランスを考えて提供しています。又、必要に応じて水分摂取量を表へ記入して把握し、状態に応じて対応しています。	○	その人の状態に応じて一日の水分量や排泄回数・量が表に記入され対応できることから継続して行きます。又、一日の総カロリーは概ね把握できているものの不足分を考慮し継続して対応して行きます。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
75	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	研修に参加した資料に目を通したり、会議で報告や話し合い、徐々に対応マニュアルの整備がなされています。又、必要に応じ事務所へ貼付して対応しています。 職員・利用者はホームへ入った時は、手洗い・うがいを行っています。	○	作成したマニュアルのを活用し、早期発見・対応に努めます。 継続して必要なマニュアルを整備して行きます。
76	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	調理器具は夜勤帯で毎日消毒しています。 食材は二～三日おきに購入し、賞味期限に十分注意して無駄のないように季節の新鮮な食材を使用し工夫をしています。		継続して調理器具の消毒や食材の管理に努めて行きます。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
77	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	窓が大きく外から中の様子が見え、春から夏にかけて玄関の周りには花を植えたり、冬近くになるとイルミネーションで飾って工夫し、ホーム全体が家庭的な雰囲気になるよう努め、安心して入っていただけるように心掛けています。	○	今後も親しみやすく優しい雰囲気作りを継続して行きます。
78	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節に合った装飾を利用者と一緒に作成しコミュニケーションのきっかけになっています。 又、テレビの音量も利用者が調整していただいたり、職員の足音や話し声も不快な音にならないよう配慮しています。	○	共有の空間については、昔使っていた物等をさりげなく飾り、できる限り家庭的な雰囲気な空間に近づけるよう継続して取り組んで行きます。
79	○共用空間における居場所づくり 共用空間の中には、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共有空間にはソファや畳み・掘りごたつがあり、それぞれが好きな場所で過ごせる空間になっています。	○	利用者は個々に居心地の良い場所で過ごされており、利用者同士団らんできるように継続して安らぎの場の提供に心掛けます。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
80	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好み のものを活かして、本人が居心地よく過 ごせるような工夫をしている	利用者の意向で家族の協力のもとできる限り、 以前より使っていたタンス等馴染みのある物を自 室に配置していただき、安心して心地よいその人 に合った居室作りを心掛けています。		馴染みの物を使うことで安心感を得られている 様子あり、今後も利用者と相談しながら家族の協 力のもと自立した生活へと繋げられるよう継続して 取り組んでいきます。
81	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよ う換気に努め、温度調節は、外気温と大き な差がないよう配慮し、利用者の状況に応 じてこまめに行っている	ホーム内には温度・湿度計を設置し、ストーブ や加湿器にて調整に努めています。又、トイレ等 は常時換気され、必要に応じ脱臭剤の活用をして います。 入浴時は脱衣所に暖房器具設置され温度差に配 慮しています。	○	臭いや空気のだよみがないよう必要に応じて換 気等を行い、温度や湿度の調整を継続して対応し ていきます。
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
82	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活か して、安全かつできるだけ自立した生活が 送れるように工夫している	適所に手すりが設置され、移動や移乗がスム ーズにできるようその人に合った支援をしていま す。又、椅子から立ち上がる際工夫しスムーズに 行えるよう支援しています。	○	一人ひとりの身体の状態に合わせた環境改善を 必要に応じて工夫していけるよう心掛けて行いま す。
83	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱 や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工 夫している	適所に分かりやすい・見えやすいように表示を し、混乱・場所間違いのないように配慮していま す。又、一人ひとりの居場所があり、マイペース で過ごされています。		その人の力量に合った環境を設定し継続して対 応して行きます。
84	○建物の活用 建物を利用者が楽しんだり、活動できる ように活かしている	玄関先のプランターやミニ農園に進んで水やり を行ったり、心身的に無理のないよう声掛けを行 い、時に一緒に行い出来る範囲で楽しんでいま す。	○	敷地内は砂利が敷かれた状態であるため転倒事 故に十分注意をし、アスファルトへの変更等の整 備を継続して働きかけて行きます。

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

V. サービスの成果に関する項目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
項 目		
85	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない
86	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
87	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
88	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
89	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
90	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
93	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
94	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input checked="" type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
95	職員は、生き活きと働けている	<input checked="" type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の2/3くらいが <input type="radio"/> ③職員の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
96	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input checked="" type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
97	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input checked="" type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の2/3くらいが <input type="radio"/> ③家族等の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

各利用者様の状況に応じ毎日楽しく気持ちよく過ごしていただく為に一人ひとりのペースに合わせ、時間や規則に囚われない押し付けのない生活を送っていただけるようサービスを展開して取り組んでいると思います。例えば、帰宅願望のある利用者様へは全スタッフが統一した声掛けを行い、快く泊まっていただけるよう働きかけたり、歩行や立ち上がりの不安定のみられる利用者様へは転倒防止を図るためすぐ対応し、阻止出来るよう食事席を替えたり見守りや状態に応じた対応を行っています。又、経済的に乏しい利用者様へはなるべく負担にならないよう等施設内で賄えるものは賄ったりと当たり前のことであると思われるが、全スタッフが情報を共有し、問題に突き当たった際は相談し合い、やってみようとする行動に移し、行えていることはすごいことだと思っています。サービスをしていく上での原点的な事ですが、忘れる事なく取り組んでいる事に誇りを感じています。スタッフも嫌がる事なく、常に利用者様を第一に考えながら取り組み、そして常に前向きであり、自分も頑張らなくては！と活力が満ちてくる職場です。助け助けられ、楽しく仕事に取り組んでいます。